

## 平成30年度 「横浜市大熊スポーツ会館」 収支予算書

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	6,938,000		6,938,000		6,938,000	横浜市より
利用料金収入	0		0		0	
自主事業(指定管理料充当の自主事業)収入	287,800		287,800		287,800	
自主事業収入	0		0	0	0	
雑入	445,000	0	445,000	0	445,000	
印刷代	5,000		5,000		5,000	
自動販売機手数料	300,000		300,000		300,000	
駐車場利用料収入	0		0	0	0	
その他(寄附金)	140,000		140,000		140,000	
<b>収入合計</b>	<b>7,670,800</b>	<b>0</b>	<b>7,670,800</b>	<b>0</b>	<b>7,670,800</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>4,975,000</b>	<b>0</b>	<b>4,975,000</b>	<b>0</b>	<b>4,975,000</b>	
給与・賃金	4,900,000		4,900,000		4,900,000	
社会保険料	26,000		26,000		26,000	
通勤手当	0		0		0	
健康診断費	35,000		35,000		35,000	
福利厚生	14,000		14,000		14,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0	0	0	
退職給付引当金繰入額	0		0	0	0	
<b>事務費</b>	<b>439,000</b>	<b>0</b>	<b>439,000</b>	<b>0</b>	<b>439,000</b>	
旅費	10,000		10,000		10,000	
消耗品費	160,000		160,000		160,000	
会議ठी費	3,000		3,000		3,000	
印刷製本費	0		0		0	
通信費	100,000		100,000		100,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	30,000		30,000		30,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	25,000		25,000		25,000	
職員等研修費	0		0		0	
振込手数料	0		0		0	
リース料	108,000		108,000		108,000	
手数料	0		0		0	
地域協力費	3,000		3,000		3,000	
<b>事業費</b>	<b>337,300</b>	<b>0</b>	<b>337,300</b>	<b>0</b>	<b>337,300</b>	
自主事業(指定管理料充当の自主事業)費	337,300		337,300		337,300	
自主事業費	0		0	0	0	
<b>管理費</b>	<b>1,573,000</b>	<b>0</b>	<b>1,573,000</b>	<b>0</b>	<b>1,573,000</b>	
光熱水費	1,120,000	0	1,120,000	0	1,120,000	
電気料金	1,080,000		1,080,000		1,080,000	
ガス料金	0		0		0	
水道料金	40,000		40,000		40,000	
清掃費	107,000		107,000		107,000	
修繕費	150,000		150,000		150,000	
機械警備費	159,000		159,000		159,000	
設備保全費	37,000	0	37,000	0	37,000	
空調衛生設備保守	0		0		0	
消防設備保守	37,000		37,000		37,000	
電気設備保守	0		0		0	
害虫駆除清掃保守	0		0		0	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	0		0		0	
共益費	0		0		0	
<b>公租公課</b>	<b>360,000</b>	<b>0</b>	<b>360,000</b>	<b>0</b>	<b>360,000</b>	
事業所税	0		0		0	
消費税	320,000		320,000		320,000	
印紙税	0		0		0	
その他(法人税・法人住民税等)	40,000		40,000		40,000	
<b>事務経費(計算根拠を説明欄に記載)</b>	<b>△ 13,500</b>	<b>0</b>	<b>△ 13,500</b>	<b>0</b>	<b>△ 13,500</b>	
本部分	△ 13,500		△ 13,500		△ 13,500	協会全体必要経費を指定管理料・管理費等の額に応じて14施設で配分
当該施設分	0		0	0	0	
<b>二一ス対応費</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
<b>支出合計</b>	<b>7,670,800</b>	<b>0</b>	<b>7,670,800</b>	<b>0</b>	<b>7,670,800</b>	
<b>差引</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	

自主事業費収入				0		
自主事業費支出				0		
自主事業収支				0		
管理許可・目的外使用許可収入				0		
管理許可・目的外使用許可支出				0		
管理許可・目的外使用許可収支				0		

## 横浜市大熊スポーツ会館自主事業計画書

団体名 特定非営利活動法人 つづき区民交流協会

事業名	①募集対象	自 主 事 業 予 算 額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
健康体操教室	一般	200,000	0	200,000	120,000	0	80,000
	40 人×2期						
	4,000 (@2,000*2期)						
会館まつり	一般	100,000	20,000	80,000	0	80,000	20,000
	400人						
	200円						
テニストーナメント	小学生/一般	16,800	12,000	4,800	0	1,200	15,600
	8人/16人						
	無料						
ソフトバレーボール大会	小学生/一般	20,500	17,500	3,000	4,000	8,000	8,500
	15人/15人						
	無料/200円						
基礎からはじめる卓球教室 (全6回)	一般	0	0	0	0	0	0
	20人						
	3500円						
合 計		337,300	49,500	287,800	124,000	89,200	124,100

事業ごとの内容等を様式4に記載してください。

# 横浜市大熊スポーツ会館自主事業別計画書(単表)

団体名 特定非営利活動法人つづき区民交流協会

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康体操教室	<p>&lt;目的&gt; 一般から高齢者までの健康保持とお互いの交流を目的とします。</p> <p>&lt;内容&gt; 基礎体操、リズム体操から応用まで幅広く運動し、自身の健康保持を計ります。</p>	<p>4月6日(金)～</p> <p>年間40回</p> <p>(H18年より継続)</p>

事業名	目的・内容等	実施時期
テニスダブルストーナメント	<p>&lt;目的&gt; こどもから一般を対象とした利用者の日頃の成果発揮とお互いの交流を図ることを目的とする。</p> <p>&lt;内容&gt; こどもと一般のテニスダブルストーナメントを開催する。</p>	<p>9月</p> <p>(H26年より継続)</p>

事業名	目的・内容等	実施時期
会館まつり	<p>&lt;目的&gt; 団体利用の日頃の成果の発表と地域との交流を目的とします。</p> <p>&lt;内容&gt; 発表会、模擬店、市域野菜販売、テニス教室等で利用者と地域との交流を図ります。</p>	<p>11月23日(金)</p> <p>(H20年より継続)</p>

事業名	目的・内容等	実施時期
ソフトバレーボール大会	<p>&lt;目的&gt; こどもから一般を対象とした利用者がお互いの交流を図ることを目的とします。</p> <p>&lt;内容&gt; 初心者、経験者が技術の向上を図りつつ、交流します。</p>	<p>1月</p> <p>(H28年より新規)</p>

事業名	目的・内容等	実施時期
卓球教室 募集人数/20人 参加費/3500円 協力/都筑卓球協会	<p>&lt;目的&gt; 一般から高齢者までの健康保持とお互いの交流を目的とします。</p> <p>&lt;内容&gt; 初心者から経験者まで、技術の向上を図ります。</p>	<p>6月以降 全6回コース</p> <p>(H29年より新規)</p>

\*実施時期については、事情により変更する場合があります。



## 平成30年度横浜市大熊スポーツ会館自己評価表

目標設定の視点	計画内容及び運営目標	計画内容及び運営目標に対する実績	今後の取組(改善計画)	自己評価
利用者サービス	<p>事業計画書</p> <p>(2)イ 地域特性、地域ニーズ</p> <p>に記載しているもので、対象年度に行う予定のもの</p> <p>①高齢者の生きがいがづくり、健康づくり、地産地消への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康体操の実施、参加人員の増、地場野菜・果物販売</li> </ul> <p>②居場所づくり、ふるさとづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と連携によるソフトバレーボール大会の開催</li> <li>・地域と連携による卓球教室の開催</li> </ul> <p>③祭りなど、地域のつながりを活かした施設運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域協力で会館祭りの実施</li> <li>・グランドゴルフ大会への参加</li> </ul>			
	<p>ウ 公の施設としての管理</p> <p>①運用方法等をルール化し、チラシ、HP に掲載</p> <p>②全職員への年1回の「窓口サービス研修」「人権研修」により、誰もが公平に、気軽に利用できるように指導</p> <p>③毎日の清掃など、清潔な施設提供</p>			
	<p>(4)オ 利用者ニーズの把握と運営への反映</p> <p>①日常での声掛け</p> <p>②アンケートの実施で要望(年1回実施)</p> <p>③委員会からの提言(年5回開催)</p> <p>④利用者会議での意見、改善要望や企画募集(年1回)</p>			
	<p>カ 利用者サービス向上の取組</p> <p>①季節ごとの花を植え(4回/年)</p> <p>②雑草の除去(3回/年)</p>			
業務運営	<p>事業計画書</p> <p>(3)ア 管理運営に必要な組織、人員体制</p>			

(様式 15)

	<p>①スタッフの業務担当制の導入</p> <p>②仲町台地区センターとの一体的運営（館長の兼務・広報の活用）</p>			
	<p>ウ 緊急時の体制と対応計画</p> <p>危機管理研修（年1回）</p> <p>防災訓練（年1回）</p> <p>全職員の普通救命講習終了（新人・取得後3年経過者）</p>			
	<p>(4) ア 設置理念を実現する運営内容</p> <p>①高齢者の生きがいがづくり、健康づくり、地産地消への取組</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・健康体操の実施、参加人員の増、地場野菜・果物販売</li></ul> <p>②居場所づくり、ふるさとづくり</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域と連携によるソフトバレーボール大会の開催</li></ul> <p>③地域のつながりを活かした施設運営</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域協力で会館祭りを実施・グランドゴルフ大会参加</li></ul>			
	<p>イ 利用促進策</p> <p>①ミーティング室の利用促進（前年比1%増）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・将棋、囲碁、トランプ、u n o等娯楽ルームとしての利用促進</li><li>・スポーツ室利用団体・個人利用に当日申込で打合せ場所として開放</li></ul>			
	<p>ウ 「地域活動拠点」として提供するサービス（TCのみ）</p>			
	<p>ク 本市重要施策に対する取組（該当施設）</p> <p>①会館だよりの発行（年4回）</p> <p>②人権研修の実施（年1回）</p> <p>③省エネ対策</p>			
	<p>(5) 自主事業計画</p> <p>①地域資源と連携した自主事業で、自主事業参加人員の増前年比5%増（テニストーナメント、ソフトバレー大会、卓球教室）</p>			
	<p>(6) 施設の維持管理計画</p> <p>経年劣化と光熱費上昇に対応するため、効率的計画的な維持管</p>			

(様式 15)

	<p>理手法を取入れ、持続可能な施設運営と長寿命化を目指す。</p> <p>①長期修繕計画による計画的・効率的な管理</p> <p>②ボランティア協力による塗装修繕及び大掃除の実施</p>			
職員育成	<p>事業計画書</p> <p>(3)ア 管理運営に必要な組織、人員体制</p> <p>①スタッフの業務担当制の導入</p>			
	<p>イ 個人情報保護等の体制と研修計画</p> <p>①個人情報保護研修の実施（年1回）</p>			
財務	<p>事業計画書</p> <p>(6) 施設の維持管理計画（における効率化の工夫）</p> <p>①ボランティア協力による塗装修繕及び大掃除の実施</p>			
	<p>(7)ア 収入計画の考え方</p> <p>自主事業参加人員増 前年比1%増</p>			
	<p>イ 増収策</p> <p>自動販売機手数料の増 前年度比1%増</p>			
	<p>ウ 支出計画</p> <p>高熱水費の削減</p>			
	<p>(4)キ ニーズ対応費の使途（地区センターのみ）</p>			
利用者等の意見	<p>利用者等の意見の把握方法</p> <p>利用者会議の開催（1回）</p> <p>利用者アンケートの実施（2回/年）</p> <p>窓口での日常的な声掛け</p> <p>センター委員会での地域要望等の聞き取り（5回/年）</p> <p>ご意見箱の設置</p> <p>主な意見、要望</p> <p>ご意見箱、アンケートによる利用者の意見、要望に対する回答は掲示</p>	意見、要望に対する対応		

《自己評価》

A：計画、目標を上回って実施

B：計画、目標を保持して実施

(様式 15)

C : 計画、目標を下回って実施

※ 「利用者等の意見」は、計画内容及び運営目標欄に利用者等から寄せられた意見・要望を、計画内容及び運営目標に対する実績・今後の取組（改善計画）欄に意見等に対する対応を記載